幼児だより　６月号

2021.6.1発行

今年は梅雨入りがとても早かったですね。どうしても室内での活動が多くなる時期です。園でもいろいろ工夫をして、子どもたちが身体を動かせるようにしていきたいと思います。

うみさんは、北難波公園へ

小さな公園ですが、子どもたちはとても楽しんでいました。スプリング遊具が一番人気!!友だち同士で譲り合いながら上手に遊んでいました。

今の子どもたちには、ちょうどいい距離にある公園です。昆虫の遊具が人気です。

そらさんは、名月姫公園へ

雨の日は、お部屋で体を動かせる保育を！

新聞紙あそびは、ダイナミックに遊べるアイテムの一つです。手が黒くなっていくことも不思議で、なぜ?がまた一つ増えました。

室内でリレーあそび。負ければ怪訝そうな顔、勝てば太陽の明るい顔。特にいるかとくじらは、勝ち負けにこだわる年齢です。感情をむき出して、応援もしていました。

夏野菜を植えました

グループで決めた野菜の種類は、トマト・プチトマト・きゅうり・いんげん・ピーマン。園で用意したなすび。毎日の当番が水やりをします。

楽しみだね★

いよいよ始まりました！年少児もコスモうんどうあそび

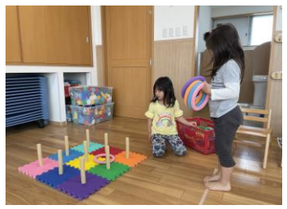
としなりリーダーです。

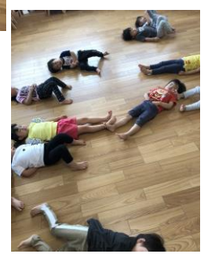
今月かららっこも、コスモうんどう遊びが始まりました。今まで門越しにうらやましそうに見ていた子どもたちだったので、緊張と嬉しさとでテンションが高い子と、真顔の子と(笑)いざスタートすると、元気よく体を動かしていました。

おべんとう持って・・・は行けなかったケド。

いるか

雨のため部屋でプチお祭り。3つのブースを用意して、遠足に行けなかった残念な気持ちも吹っ飛ぶくらい楽しんでいました。シールの景品、ちょっとしたおやつをもらい喜んでいました。行けなかった公園には計画を変更して行きたいと思います。





らっこ

悔しい雨の日になってしまい、部屋で遊びました。かみなりさんゲーム。おへそを取られないように動きます。

予定していた公園も違う日に計画していきますね。

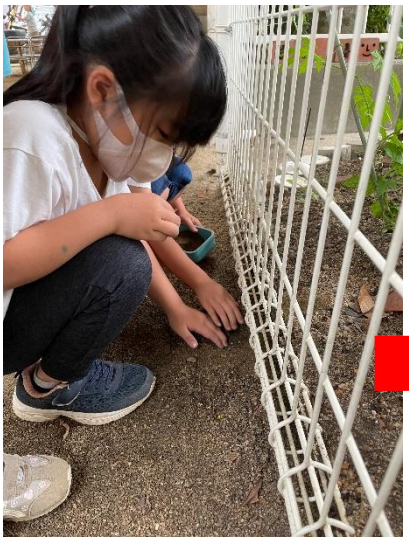
くじら

AMAMAMAに行きました。40分くらいの道のりを歩き、到着。「やったー」とわくわくした表情がとても可愛くて、楽しみにしてたんだなぁって感じました。大きな黒いアリのようなトンネルがメインの公園です。何度も滑って楽しんでいました。

小さな命に思いを寄せて…

戸外遊びをしていると、「先生、バッタが死んでるよ」とＲちゃんとＡちゃんが保育士に知らせに来ました。
保育士が「本当だね。どうしようかな？」と尋ねてみると…
５歳児の女の子がどんどん集まってきて、「埋めてあげたらいいんじゃない？」と話しています。

すると、さっそく穴を掘り始めます！！



スコップの方が掘りやすい！とＹちゃんも。

私も手伝う！とＣちゃんも参戦。

みんなで様子を見守ります！

埋めた後は「お祈りしよう」とみんなで手を組んでお祈りしていました…

保育士は、子ども達の発見に対して「どうしよう？」と考えるきっかけの言葉を掛けただけで、その後は全て子ども達が話して、考えて行動していました。さすがくじらさん！！
“小さな命も大切に”と感じてくれていること、死んでしまった虫にも思いを寄せてくれている子ども達の姿を見て嬉しく思いました。

どうしたらいいのかな？

ある日、新聞遊びをした日のことです。
それぞれ自由に新聞で遊び始めると、
Iくんは大きな新聞紙を見てすぐに
紙飛行機を作り始めました。

完成して嬉しそうに立ち上がります！

「さぁ、飛ばそう！！」としますが…
紙が薄くて大きな新聞紙。
ふにゃふにゃして崩れてしまい、
上手く飛ばせません。

そこで、保育士は聞いてみました！
保：「何で飛ばないのかな？」
Iくん：「紙が大きいから。」
保：「じゃあ、どうしたらいいかな？」
Iくん：「うーん…」
保：「じゃあ、紙を半分にしてみたらどうかな？」

すると、すぐに紙を
半分に破り始めました。

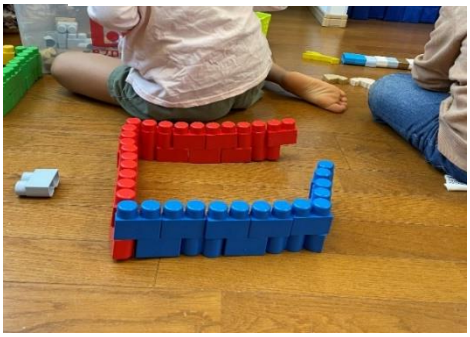
さぁ、今度は上手くいくでしょうか？

しっかり遠くまで
飛んでいきました！！！

飛んで行った飛行機を取りに行って
帰ってくるIくんの顔はニヤニヤと
嬉しそうでした！！

子ども達は、様々な遊びや経験を通して色々なことを学んでいきます。大人にとっては当たり前なこと、簡単なことでも子どもにとっては不思議に感じたり、新しい発見だったり…
私たちは、そんな子ども達の「何でだろう？」「どうしたらいいのかな？」「うわー！すごい！」という気持ちを大切にして保育をしていきたいと思っています！！
今回、5歳児のIくんはこれまでの経験から学んで紙が大きいから上手く飛ばないことは分かっていました。しかし、ではどうしたらいいのか？ということは少し難しかったようなので保育士が解決策を提案しました。この経験が、また1つIくんの学びになったのではないかと感じています！

これ、なに色？



Bブロックの青色で電車を作っていたKくんですが
青のBブロックが足りません、、、
そこで、近くにいたAくんに使っていた
Bブロックを貸してもらえるように声をかけに行きます！

①
ブロック貸して！（気づいていない様子を見てもう１度声をかける）Aくん青のブロック貸して！

②
どうぞ！（水色のブロックを渡す）

③
違うよ！K は青が欲しいんだよ

⑤
これは、水色

④
青・・・？
これ何色？

⑦
これが、青だよ
青貸して

⑥
これは何色？

⑨
ありがとう

⑧
これか～
はい、どうぞ

このやりとりの中で素敵だなと思う所が
2つありました★
1つめは・・・Kくんの気づきです
Aくんに声をかけた際、最初は気づかれず
以前のKくんは「先生、Aくんが無視する」と
保育士に頼ろうとする姿が見られましたが
この日は「名前を呼べば気づいてもらえるかも？」と
友だちの名前を呼ぶ姿がありました、友だちとの
関わりを深めようとすることで
コミュニケーション能力が育っていると感じました。
2つめは・・・Aくんが色を知る場面を見れたこと
「あ、これが青か～」
遊びの中で色を知るきっかけがあり
関わりの中で色を知っていくことが出来ました！
遊びを通して色んな力が育っていることに気づく
素敵な朝の出来事でした。

交通安全教室の指導員さんになりきって

４月に交通安全教室があり、指導員さんと一緒に道路や踏切の渡り方を練習しました。Ｓちゃんと Ｔちゃんはそのまねっこをして遊んでいるようです。Ｓちゃんは園児役、座っているＴちゃんは指導員役です。
Ｓちゃんは Ｔちゃんの言葉をよく聞いて、「わたってもだいじょうぶかな？」と左右を確認しています。

今度は役を交代して、Ｓちゃんが指導員。Ｓちゃんは座り方まで指導員さんそっくりなんですよ！
Ｔちゃんも Ｓちゃんの言葉をしっかり聞いて、声掛けに合わせて左右を確認します。

交通安全教室では１人１回ずつの模擬体験だったにもかかわらず、近くで優しく声をかけてくれた指導員さんのことがとても印象に残っていたようです。

子どもたちは毎日の活動やお友達とのかかわりから様々な刺激を受け、それを遊びや生活の中に取り入れています。体験そのものは年に１回でも、楽しかったことや印象に残っていることを再現して遊ぶことは、繰り返し体験することと同じ意味を持っていると感じました。

５月ヴィジブル